

△警告

充電電池は誤って飲み込まないように管理し、使用済みの場合は廃棄せずに、電極にテープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。



Ni-MH

△注意

- はじめて使用する前に「ご使用の前に」を参照してください。
- 充電電池を交換する際は＋を正しく入れてください。
- 充電電池はライトに入れたまま長期間放置しないでください。
- 取付位置は運転に支障がないところを選んでください。
- 保管の際は半年に1回は日光に当て充電してください。充電せず長期間、または高温下で放置すると電極が劣化し、液漏れを起こす恐れがあります。

- 長期間使用しない場合は、本体と電池ホルダーから充電電池を外してください。
- 充電電池は乳幼児の手に届くところには置かず、充電器などで充電したり、分解やショートさせたり、火中への投入をしないでください。

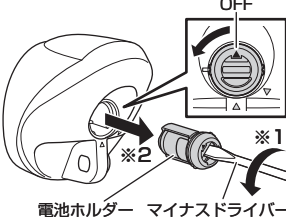
自動点滅ソーラーテールライトの特徴

- センサーが明るさと振動を感知し、夜間走行時に自動点滅します。
- 太陽電池により内蔵充電電池を充電します。
- 静止後も約1分間点滅し続けるため信号待ちなどの停車中も安心です。

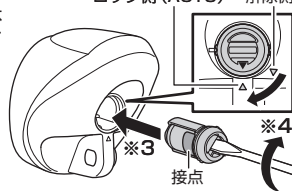
重要：ご使用の前に

※ 出荷時の状態では点滅しません。電池ホルダーを①～③の手順でOFFからAUTOに差替えてください。

- ① 電池ホルダーをマイナスドライバーで反時計方向に回し ※1、まっすぐ引抜きます。 ※2



- ② 電池ホルダーの▲を本体の▼[解除側]に合わせてまっすぐ差込み ※3、▼[ロック側(AUTO)]まで回します。 ※4



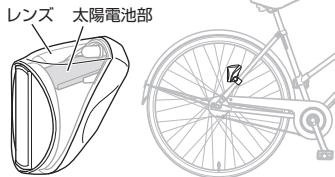
- ③ 日光下で充電してから使用します。

太陽電池について

このテールライトは太陽電池で内蔵充電電池を充電します。

注意

太陽電池部を覆ったり、暗い所へ自転車置き、充電できずに自動点滅しない場合があります。日光に当て、充電すると元に戻ります。



お手入れ

レンズについた汚れはこまめに拭き取ってください。レンズの汚れがひどい場合は、水もしくは中性洗剤の水溶液を布にしみこませてから拭き取ってください。

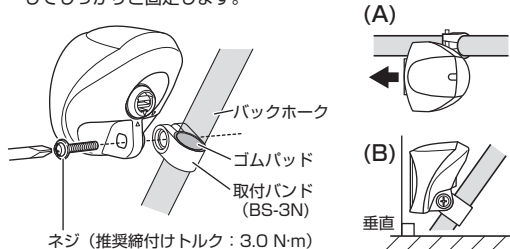
参考 このテールライトは暗くなって振動を感知すると自動的に点滅します。通常明るい時は点滅しませんが、レンズの汚れがひどいと光センサー受光部に光が届きにくくなるため、明るい昼間でも点滅することがあります。また太陽電池の充電効率も悪くなります。

自転車への取付け

- ① 取付バンドを自転車の後ろから見て、右側のバックホークに巻付けます。ゴムパッドは下表をご覧になりバックホークのパイプ径に応じて使用・不要を選択してください。

パイプ径	Ø12.7	Ø14	Ø16
ゴムパッド		使用	不要

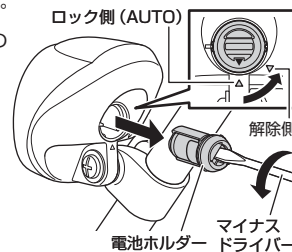
- ② 本体を付属のネジで取付バンドに仮止めします。
③ 上から見た時にリフレクター面がまっすぐ後方を向くように(A)、横から見た時にリフレクター面が垂直(B)になるようにしてしっかりと固定します。



充電電池の交換

太陽光を十分に当てても自動点滅しない場合は充電電池の寿命です。次の手順で交換してください。

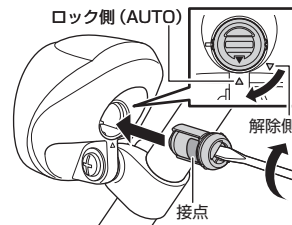
- ① 電池ホルダーの▲を本体の▼[解除側]まで回し、まっすぐ引抜きます。



- ② 充電電池を交換します。



- ③ 電池ホルダーの▲を本体の▼[解除側]に合わせてまっすぐ差込み、▼[ロック側(AUTO)]まで回します。



仕様 充電電池：ニッケル水素充電電池 (GP17AAAH) ※指定以外の電池は使用しないでください。

太陽電池：単結晶ソーラーセル 点滅時間：約22時間 (直射日光下4時間放置後充電時・連続点滅) ※点滅時間は環境により変動します。